

2月3日(日) とかちプラザ 講習室 401 9:00-13:00

日本ホスピス・在宅ケア研究会 コミュニティケア部会 企画

「まちづくり」から「まるごとケアの家」へ

～思い・活動・志をつなぐために～

—企画の趣旨—

2017年5月、私達は2人の開拓者を失いました。西村元一さんと村上智彦さん。共に地域医療の最前線でまちづくりに挑み、誰も成し得ない偉業を達成されました。今回、開催地の北海道を舞台に地域医療の歪みと闘い、新たな「ソーシャルキャピタル・シェアモデル」を生み出した村上智彦さんにスポットを当て、思いを引き継ぐ永森さんと北澤さんのお2人による対談、そして地域住民の愛着、覚悟、物語でささえられる医療やケアを目指す「まるごとケアの家」の実践から、未来への道を参加者の皆様と一緒に模索しあい、思いを、活動を、志をつないでいきたいと思えます。

「まるごとケアの家」のコンセプト

- ①この地域に必要なケアを、制度にとらわれず提供します
- ②必要に応じ様々なケアを組み合わせ提供します
- ③その人の毎日の生活を“当たり前”の感覚で支えます
- ④この地域で安心して生きるための“共同体の場”です
- ⑤「この地域の住民が“自分たち”で地域を守る」ことを支えます
- ⑥地域が必要なケアを、年齢・特性にとらわれることなく、持続可能な方法で提供していくことを目指します。

—プログラム—

総合司会：藤田敦子氏 (NPO 法人千葉・在宅ケア市民ネットワークピュア代表、コミュニティケア部会長)

【来賓挨拶】 武田俊彦氏 (厚生労働省 前医政局局長)

【挨拶&DVD放映】 村上浩明氏 (ささえる医療研究所副本部長・村上智彦氏ご子息)

【対談】 「まちづくり」から「まるごとケアの家」へ

永森克志氏 (ささえるクリニック院長) 「まるごとケアの家に込められた村上智彦先生の思い」(仮)

北澤彰浩氏 (佐久総合病院診療部長) 「佐久地域における地域包括ケア～若月先生と村上先生に思いを馳せて」(仮)

座長：松山なつむ氏 (訪問看護ステーションかしわのもり統括所長)

【講演】 「まるごとケアの家」の実践

高橋和人氏 (NPO法人里・つむぎ八幡平代表)

一木崇宏氏 (看護小規模多機能型居宅介護まるごとケアの家ホサナホーム、ホサナファミリークリニック院長)

池本直宏氏 (在宅ホスピス支援ハウス「ひと息のむら」ヘルパーステーション)

【ワークショップ】 「思いを、活動を、志をつなぐために私達にできること」

5～6人でグループを作り、グループワークを行います